



1月 院内感染対策ニュース 1月

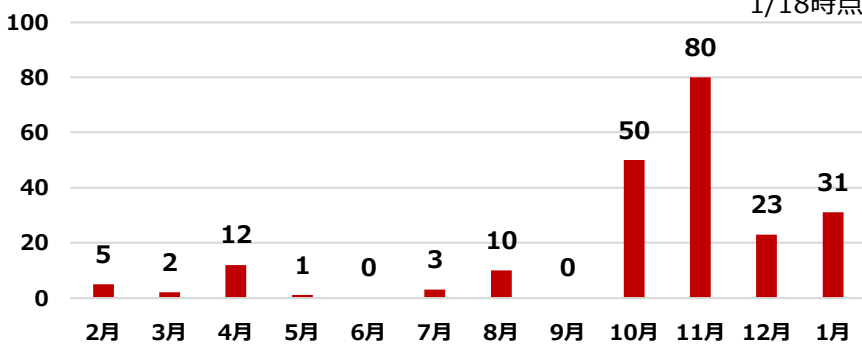
第87号 2021年1月20日
院内感染対策委員会

インフル
エンザも

釧路管内の新型コロナウイルス感染症発生状況

新年あけましておめでとうございます。2020年は未曾有の感染症が流行し、職員や患者様、家族の皆さんなどたくさんの方々のご協力により院内での感染拡大や職員の感染も起こることなく過ごすことができました。本当にありがとうございました。2021年も新型コロナウイルス感染症対策は続きます。今回も新型コロナウイルス感染症の発生状況とインフルエンザの流行状況も交えながら最新情報をお伝えします。

釧路管内COVID-19発生状況



1月に入り、急激に患者が増えてきました。1/18時点で31名発表、新規の患者が多数発生しています。家族内感染が増加、お正月休み中の会食などが考えられます。新規（濃厚接触者ではない）の患者が増えているということは市中感染が増加していることが懸念されます。首都圏でも7日より緊急事態宣言が発出されました。北海道も患者が増加傾向です。引き続き、感染対策の徹底と不要不急の外出はできるだけ避けましょう。

COVID-19抗原定量検査が始まりました！

12月25日より「新型コロナウイルス感染症抗原定量検査」が始まりました。

これまでは簡易キットによる抗原定性検査でした。簡便かつ短時間で結果が出るというメリットがありましたが10月以降、当院でも偽陽性が7件発生していました。**抗原定量検査機器はPCR検査とほぼ同等レベルの精度**があります。精度もさることながら、PCR検査より短時間で結果が出ます。検体の前処理を含めて約45分程度で結果が出ます。ただし、この検査は「判定保留」いわゆるグレーゾーンがあります（約2%）。判定保留となった場合、同検体で再検査を行います。さらに2回目の検査でも「判定保留」となった場合は、**PCR検査**が必要です。この場合は改めて検体採取が必要となりますのでご協力をお願いします。



インフルエンザの発生状況

釧路管内のインフルエンザ発生状況は北海道感染症情報センター発表によると12月に1名の発生が確認されましたがその後は発生していません。

昨年と比較してもかなりの減少です。全国でもほとんど発生がありません。

新型コロナウイルス感染症対策として日常的に皆さんが手洗い、手指消毒を行い、外食などの機会も減少していることも影響していると考えられます。インフルエンザの流行期はこれからとなりますので、今後も気を引き締めて感染対策を実践していきましょう。



新型コロナウイルス感染症対策のお願い

よろしくお願いします

インフルエンザの流行期も重なり新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されていますがインフルエンザはほぼ発生報告がされていません。これは日常的な感染対策をしっかり実践していることも影響していると思います。今後も気を緩めることなく感染対策を実践していきましょう。



年末年始で帰省した方もいらっしゃると思います。身体の疲れは残っていませんか？休日はしっかり身体を休めてください。発熱や感冒症状がある方は熱が下がっても安心できません。症状が続く場合はかかりつけ医や保健所や北海道の相談センターなどにご相談ください。受診に際してはこれまで通り、直接医療機関へ赴くことはお控えて下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

今年もタイムリーな話題を提供していきます。よろしくお願いします。